

2024年3月期

決算説明資料

2024年5月9日

日特建設株式会社

©2024 NITTOC Co.,Ltd.

Message

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

社是

私たちは、見えないところにこそ、
誠実に技術を提供して、社会から必要とされる
企業であり続ける

経営理念

Mission

- 使命

安全・安心な国土造りに
貢献する会社

Value

- 価値観

基礎工事における総合技術力と
効率的な経営

Vision

- あるべき姿

信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした
基礎工事のエキスパート

| | | |
|---|-----------------------|--------|
| 1 | 連結 業績サマリー | P4~5 |
| 2 | 連結 売上高総利益率 | P6 |
| 3 | 連結 工種別推移 | P7~9 |
| 4 | 連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書 | P10 |
| 5 | 連結 業績予想 | P11 |
| 6 | トピックス | P12 |
| 7 | 研究開発活動 | P13~15 |

1-①.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



◆ 受注高：前期比98%

前年度の大型工事受注の反動減も、海外大型工事受注により、前年度比微減、公表数値達成。

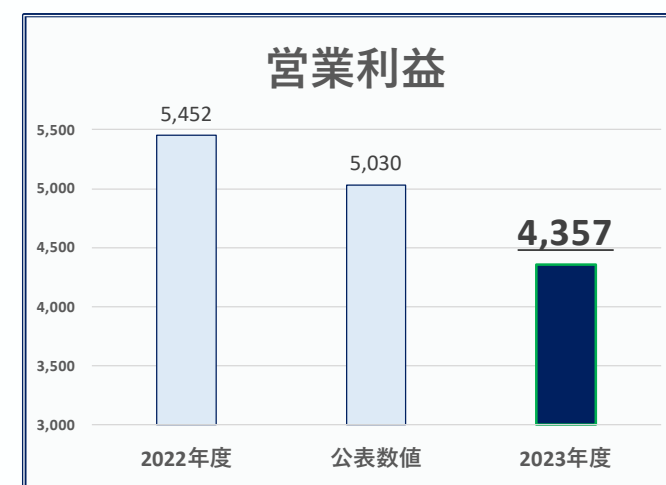
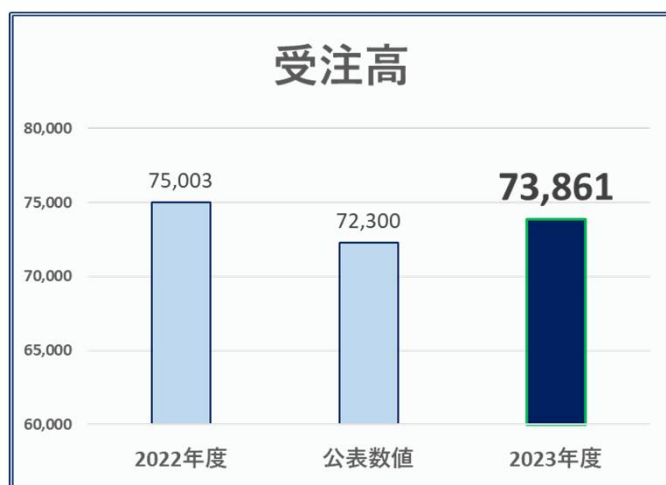
◆ 売上高：前期比99%

法面工事の減少はあったものの補修工事の増加により、前年度比微減、公表数値達成。

◆ 営業利益：前期比80%

一部不採算工事による工事採算性の低下等により、前年度比減少、公表数値未達。

※今期の取り組みは、P.11をご覧ください。



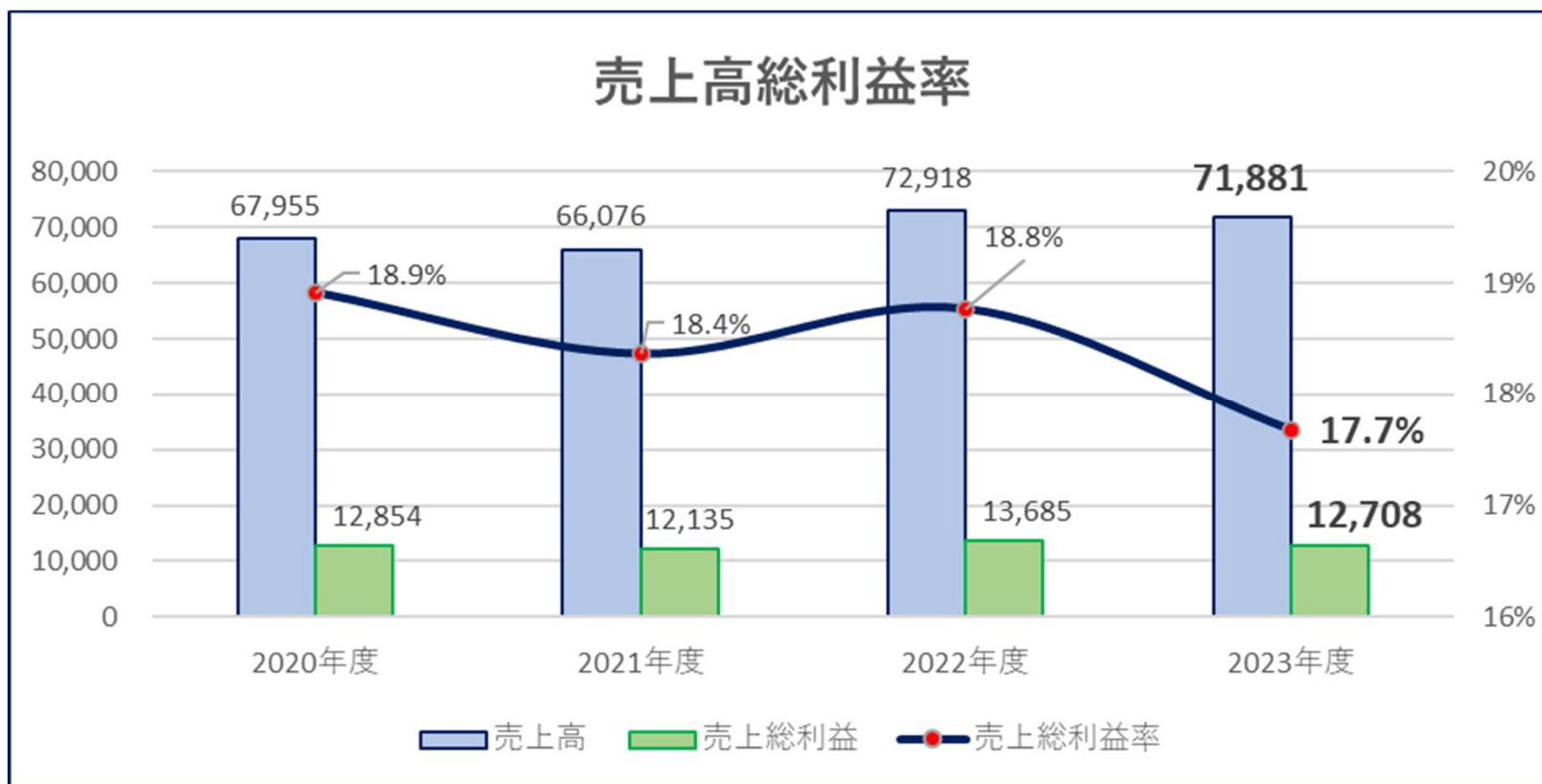
1-②.連結業績数値 サマリー (単位：百万円)



| 連 結 | 2022 年度 | 公表 数値 | 2023 年度 | 対前年 | | 対公表 | |
|---------------------|------------|----------|---------------|----------------|------------|--------------|------------|
| | | | | 差異 | % | 差異 | % |
| 受注高 | 75,003 | 72,300 | 73,861 | △ 1,143 | 98% | 1,561 | 102% |
| 売上高 | 72,918 | 71,200 | 71,881 | △ 1,039 | 99% | 681 | 101% |
| 完成工事 総利益 | 13,685 | 13,230 | 12,708 | △ 977 | 93% | △ 522 | 96% |
| 販管費 | 8,233 | 8,200 | 8,352 | <u>118</u> | 101% | <u>152</u> | 102% |
| 営業利益 | 5,452 | 5,030 | 4,357 | <u>△ 1,095</u> | 80% | <u>△ 673</u> | 87% |
| 経常利益 | 5,463 | 5,050 | 4,397 | <u>△ 1,066</u> | <u>81%</u> | <u>△ 653</u> | <u>87%</u> |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,527 | 3,350 | 3,066 | <u>△ 460</u> | <u>87%</u> | <u>△ 284</u> | <u>92%</u> |

2.売上高総利益率（単位：百万円）

売上高総利益率：17.7%（前年同期1.1%悪化） 一部不採算工事による工事採算性の低下



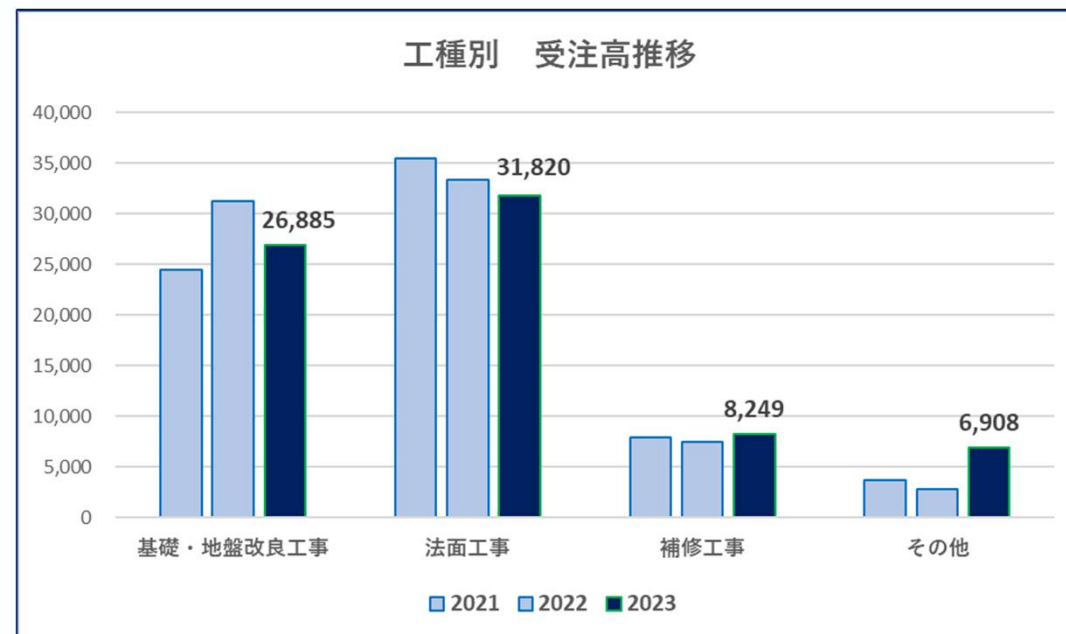
3-①.連結 工種別受注高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：269億円（前年比86%） 法面工事：318億円（前年比95%）

地盤改良工事への注力もあり、法面工事は減少するものの受注高全体の40%台を維持、拡大を目指す生産性高い地盤改良工事は、前年の大型工事の反動減があるものの全体の36%を確保、その他は海外の大型土木工事獲得により大幅増加。

| 連結 受注高 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 対前期 | |
|-----------|------------|------------|------------|---------|------|
| | | | | 増減 | % |
| 基礎・地盤改良工事 | 24,469 | 31,263 | 26,885 | △ 4,378 | 86% |
| 法面工事 | 35,505 | 33,397 | 31,820 | △ 1,578 | 95% |
| 補修工事 | 7,886 | 7,519 | 8,249 | 730 | 110% |
| その他 | 3,766 | 2,824 | 6,908 | 4,084 | 245% |
| 合計 | 71,626 | 75,003 | 73,861 | △ 1,142 | 98% |



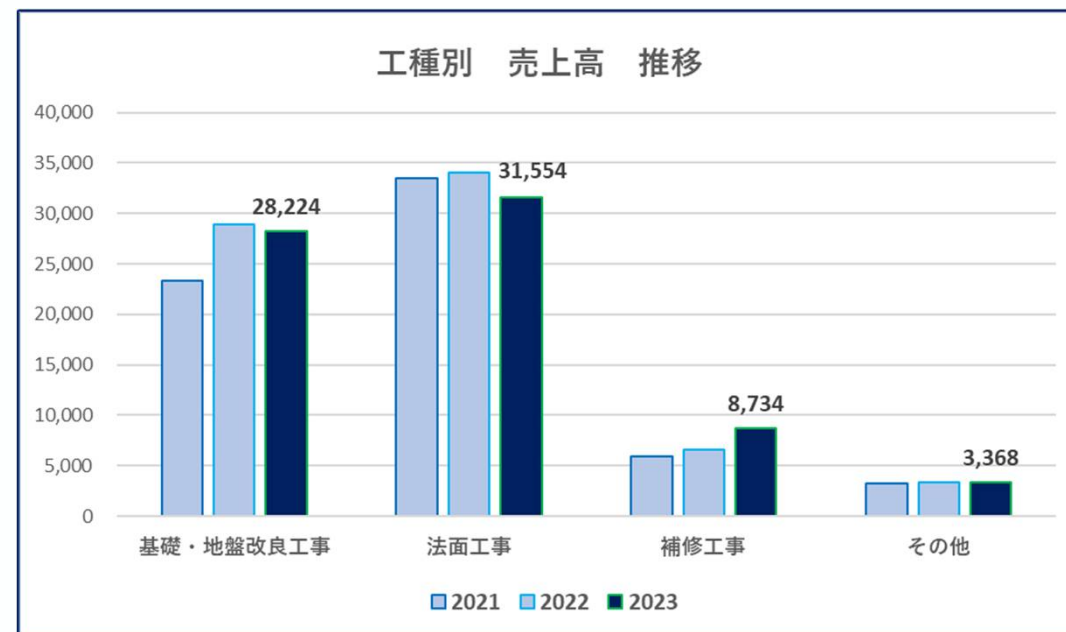
3-②.連結 工種別売上高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：282億円（前年比98%） 法面工事：316億円（前年比93%）

地盤改良工事は前年並みを維持、法面工事の減少を補修工事で補い、売上高全体は前年並みを維持。

| 連結 売上高 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 対前期 | |
|-----------|------------|------------|------------|---------|------|
| | | | | 増減 | % |
| 基礎・地盤改良工事 | 23,360 | 28,946 | 28,224 | △ 722 | 98% |
| 法面工事 | 33,517 | 34,056 | 31,554 | △ 2,502 | 93% |
| 補修工事 | 5,952 | 6,606 | 8,734 | 2,128 | 132% |
| その他 | 3,247 | 3,310 | 3,368 | 58 | 102% |
| 合計 | 66,076 | 72,918 | 71,881 | △ 1,038 | 99% |



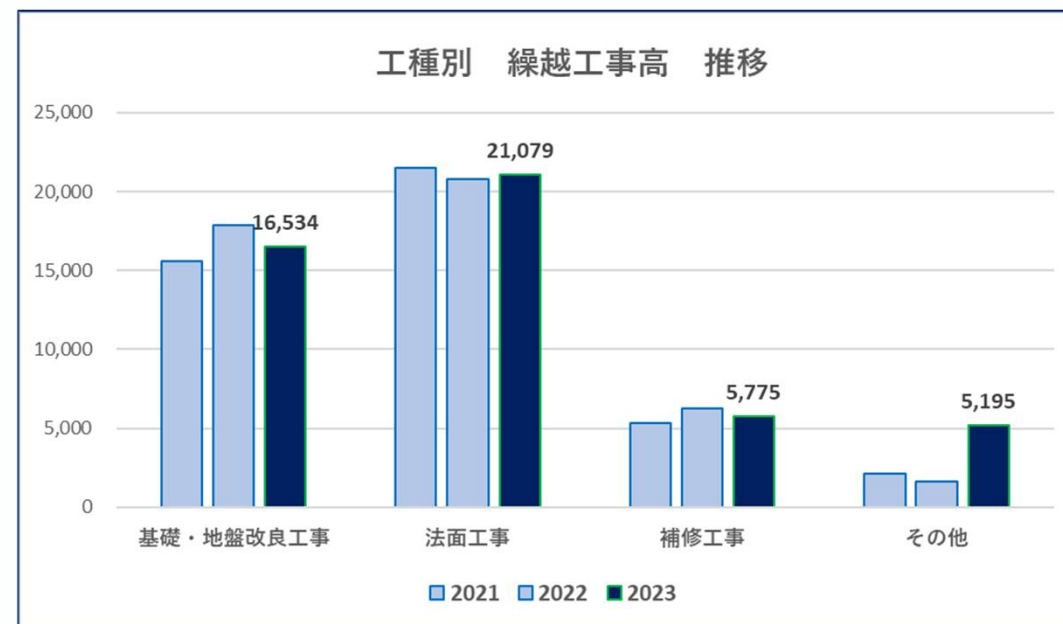
3-③.連結 工種別繰越工事高（単位：百万円）



基礎・地盤改良工事：165億円（前年比92%） 法面工事：211億円（前年比101%）

法面工事、地盤改良工事を中心に、その他（海外の大型土木工事）が増加し、前年比104%の繰越工事高を確保。

| 連結 繰越工事高 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 対前期 | |
|-------------|------------|------------|------------|---------|------|
| | | | | 増減 | % |
| 基礎・地盤改良工事 | 15,577 | 17,894 | 16,534 | △ 1,360 | 92% |
| 法面工事 | 21,472 | 20,813 | 21,079 | 266 | 101% |
| 補修工事 | 5,347 | 6,260 | 5,775 | △ 485 | 92% |
| その他 | 2,121 | 1,635 | 5,195 | 3,560 | 318% |
| 合計 | 44,517 | 46,602 | 48,583 | 1,981 | 104% |



4.連結 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



| | 2023年 3月期 | 2024年 3月期 |
|--------------------------|---------------|---------------|
| 流動資産 | 42,431 | 42,223 |
| うち、現金預金 | 19,457 | 19,644 |
| うち、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産等 | 21,858 | 20,971 |
| うち、未成工事支出金 | 284 | 236 |
| 固定資産 | 10,377 | 12,203 |
| 有形固定資産 | 6,430 | 6,598 |
| 無形固定資産 | 578 | 558 |
| 投資その他の資産 | 3,368 | 5,047 |
| 資産合計 | 52,809 | 54,425 |
| 流動負債 | 16,559 | 16,423 |
| うち、支払手形・工事未払金等 | 11,539 | 12,133 |
| うち、未成工事受入金 | 423 | 980 |
| 固定負債 | 4,122 | 3,964 |
| 負債合計 | 20,681 | 20,387 |
| 純資産の部 | 32,127 | 34,038 |
| 負債純資産合計 | 52,809 | 54,425 |

| | 2022年 | 2023年 |
|-------------------------|----------------|----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,659 | 4,422 |
| うち、税引前四半期（当期）純利益 | 5,435 | 4,498 |
| うち、減価償却費 | 583 | 781 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,788 | △ 2,288 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,171 | △ 1,965 |
| うち、配当金の支払い額 | △ 2,165 | △ 1,959 |
| 現金及び現金同等物残高 | 19,457 | 19,644 |

5.連結 業績予想（単位：百万円）



| 連 結 | 2022 年度 実績 | 2023 年度 実績 | 2024 年度 予想 | 対前年 | | 対前々年 | |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|-------|------|---------|------|
| | | | | 差異 | % | 差異 | % |
| 受注高 | 75,003 | 73,861 | 74,000 | 138 | 100% | △ 1,003 | 99% |
| 売上高 | 72,918 | 71,881 | 73,000 | 1,118 | 102% | 82 | 100% |
| 完成工事 総利益 | 13,685 | 12,708 | 13,800 | 1,091 | 109% | 115 | 101% |
| 販管費 | 8,233 | 8,352 | 8,400 | 47 | 101% | 167 | 102% |
| 営業利益 | 5,452 | 4,357 | 5,400 | 1,042 | 124% | △ 52 | 99% |
| 経常利益 | 5,463 | 4,397 | 5,400 | 1,002 | 123% | △ 63 | 99% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,527 | 3,066 | 3,600 | 533 | 117% | 73 | 102% |

中期経営計画2023の2年目である2025年3月期の業績については、上記表の通り。2024年3月期に減益要因となった不採算工事については、円滑に施工を進めるための準備力と現場変化への対応力を向上させる施策の更なる徹底を図り、経営理念に謳う「効率的な経営」を目指す。

6.トピックス（新工法の現場採用）



福岡県：池町川 地下調節地(けやき通り)築造工事(1工区)

池町川の地下調整池築造工事における地盤改良工事

新技術の地盤改良技術「N-Jet工法」を、ジェットグラウト管理システム「JET-Track.Nav【トラナビ】」を利用して地盤の改良状況を可視化し、正確かつ安全に施工しました。

改良機側

GNSS受信機



モニター

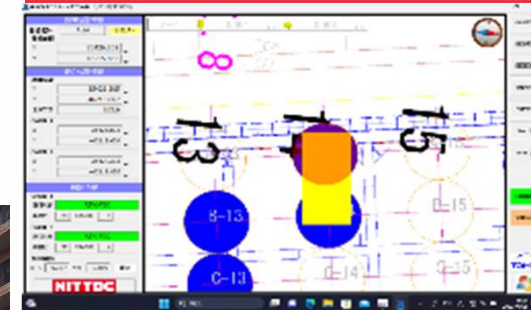
プラント側



モニター



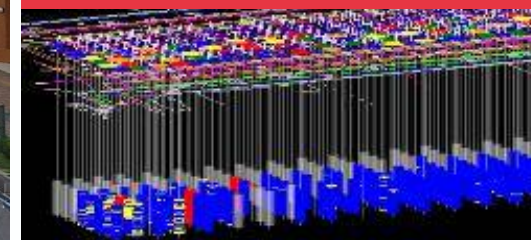
マシンガイダンス機能



施工管理画面をモニタリング表示



施工データを3次元表示



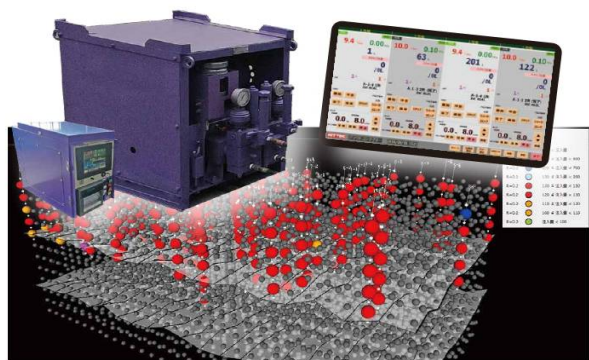
7-①.研究開発活動 見えない地盤を相手に！



地盤改良工事の施工管理の高度化

薬液注入制御・モニタリング装置

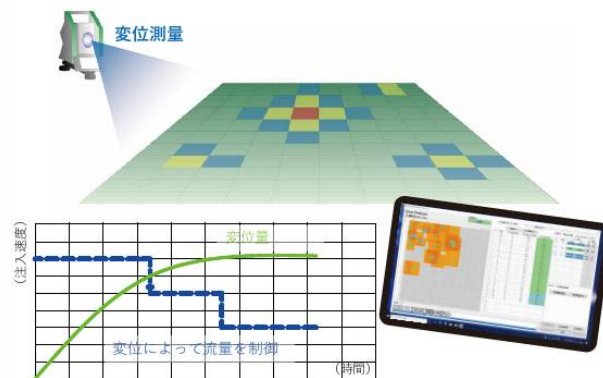
Grout Conductor



注入圧力をモニタリングしながら、1台で最大8セットの流量計・グラウトポンプの流量を自動制御します。

変位制御自動注入制御システム

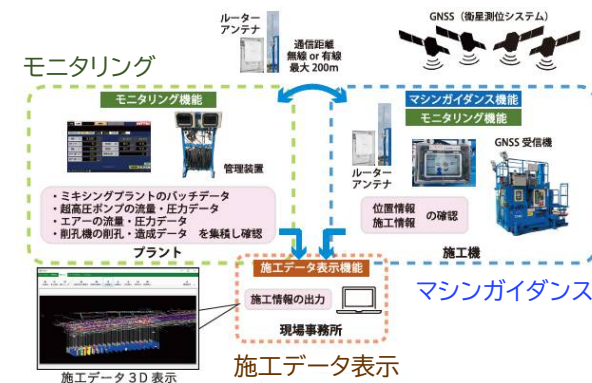
Grout Producer



地盤変位をモニタリングしながら注入を行い、注入吐出量を自動でコントロールして地盤変位を抑制します。

ジェットグラウト管理システム

JET-Track.Nav【トラナビ】



ジェットグラウトの施工状況を可視化したシステムです。マシナイズ機能、モニタリング機能、施工データ表示機能で構成されます。

当社の主要事業分野である「地盤改良」は、目視できない地盤内が施工フィールドです。地上から地盤条件や注入状況を正確に把握し、精度良く施工管理を行って、高品質な構造物を地中に構築することが求められます。そのための地盤改良施工モニタリング・管理システムの開発を行っています。見えないところに、お客様の要望に応じた高品質な施工を提供する「私たちのプライド」を支える技術です。

7-②.研究開発活動 機械化・省力化を現場に展開！



法面吹付工事の機械化施工による生産性向上

吹付法枠工の吹付作業を機械化

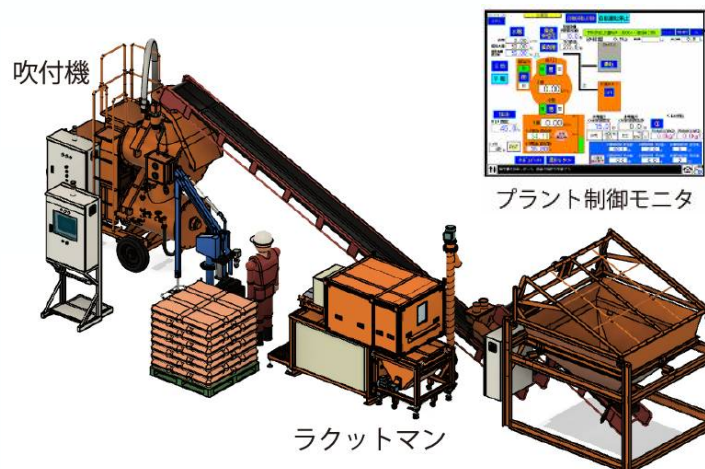
ワクラクショット



法枠吹付工における吹付作業を機械化した工法です。吹付作業の省力化と大容量化を実現しました。

吹付プラントの自動化・省力化

ショットセイバー



吹付プラントの自動化・省力化を実現した技術です。2024年 現場適用（2件）

袋セメント自動開封装置

ラケットマン



モルタル吹付において人力で行っていた袋セメントの開封・投入の作業を自動化しました。



法面工事の自動化・省力化を進めています。開発した技術を、いかに現場に展開するかということも重要な課題となります。現場の生産性向上を目指し、開発工法の展開を図っています。

7-③.研究開発活動 創業工種のブラッシュアップ！



ダムグラウチングの自動化・省力化 『I・S・Dグラウチング』



ポンプ・ミキサの遠隔制御



各種センサでモニタリングを行い、タブレットで遠隔操作

現場の見える化

ネットワークカメラを使って、常時、現場状況を確認。遠隔臨場にも対応できます。

● WEB ブラウザ上に管理画面を表示



施工の見える化

注入状況・結果を集積し、リアルタイムで把握できるGrout Management Systemを構築



注入画面



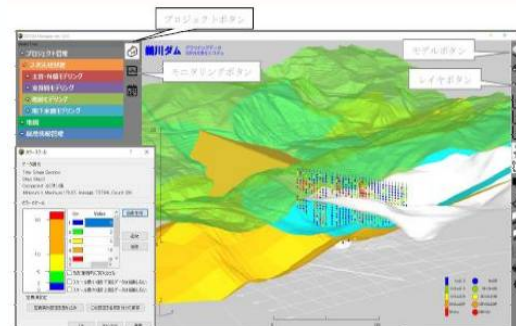
施工状況マップ



グラウト管理日報

注入結果の可視化

3D CADデータ上に注入結果を表示



ダム基礎地盤の止水性を確保するためのダムグラウチングは、当社の創業工種です。これまでに全国の大ダムの75%以上の基礎処理グラウチングを手がけてきました。

働き方改革の推進によりダム現場でも、これまで以上の省力化施工を求められています。このため、**施工管理の自動化、省力化**を図るシステムを構築し、ダム現場への展開を進めています。

これまで社会に貢献してきた技術をさらにグレードアップさせ、持続可能な社会の構築に貢献していきたいと考えています。